

# 映画『みちくさ -天国に一番遠い場所-』

## 上映 & 監督トークショー

令和5年 **11月25日(土)**

開演 午後1時30分 (開場午後1時)

河内長野市立文化会館 (ラフリーホール) 小ホール  
定員: 300名

入場無料 当日先着順受付 (申し込みは不要)

※日本語字幕はありません。あらかじめご了承ください。

【第1部】映画上映: 約90分

# みちくさ -天国に一番遠い場所-

### 自分らしく生きられる場所がきっとある 出会いが紡ぐやさしさと希望の物語

性的マイノリティの人権問題、インターネットでの誹謗中傷、若者世代の生きづらさ・・・。

悩みを抱えた人たちが、「勇気を出して一步踏み出せば、相談できる人や支えてくれる仲間がいるんだ」ということに気づいてもらえるような、出会いが紡ぐやさしさと希望の物語。

自分らしく生きられる場所がきっとある。

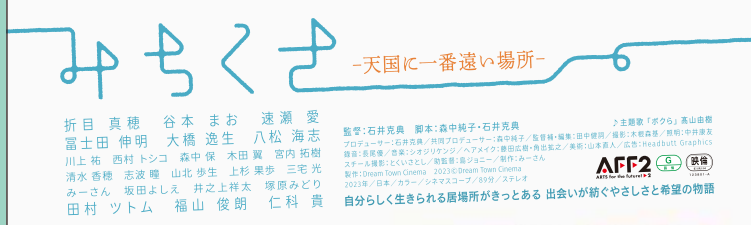
【第2部】監督トークショー: 約30分

# 映画監督 いしい かつのり 石井 克典 さん

今回、初めてメガホンを取った本作は、私と脚本を共同執筆した森中純子とともに「不登校になった子を持つ親」としての実体験を織り交ぜた内容になっています。

子どもたちの「つらさ」を間近に感じてきた私たちだからこそ、この映画を通して「みんな違ってみんないい」「いちばん大切なのは、生きてるってことや」という思いを、全国の悩める方々や身近に生きづらさを感じている方々に届けられると信じています。

※手話通訳・要約筆記あり





## ▼Introduction

本作は、わたしたちが何気なく用いる「普通」や「当たり前」といった価値観や、社会が求めるジェンダー規範、セクシュアリティへの嫌悪などに抗うことができずに絶望するも、人生に明るい未来を見出し、たくましく生きる若者の姿を描いている。

「普通ではない」彼らの生き生きとした姿を見れば、わたしたちの古くなった価値観をアップデートさせることに少しも抵抗を感じないだろう。

それどころか、クローゼットの奥にしまったTシャツを引っ張り出して「自分らしい生き方」を始めたい「普通ではない」大人が続出しそうである。

## ～あらすじ～

シェアハウス「みちくさ」は、人里離れた大自然の中にある。開放感に包まれて暮らしているのは、様々な悩みから人生に絶望した経験を持つ若者たちだ。こんな場所に見慣れない女と男がいる。若者たちは息を潜めて様子を伺うと他人のように見えた二人が同時に呟いた「死にたい」と。セクシュアリティは誹謗中傷的になり、性自認にそって生活することも困難を極める。周囲に打ち明けることができない二人もまた人生に絶望を感じて、ここへ来たのだ。彼らは何を求めてこの場所へ訪れたのか。「みちくさ」の若者たちは、好奇心から「死にたい二人」へ近づいてゆく……。

他人の目を気にするあまり、いつの間にか自分らしさを失ってしまった彼らは絶望感や息苦しさから逃れることができるのだろうか？

そして「安住の地」にたどり着くことはできるのだろうか。

## 石井克典 プロフィール

### ▼監督・脚本・プロデュース

1967年7月24日 京都市左京区生まれ

明けても暮れても映画鑑賞。映画館通いをする中、ある作品のプロデューサーに出会ったことをきっかけに、鑑賞する側から制作する側の世界に足を踏み入れてしまう。これまでにプロデューサー、助監督、制作スタッフ、時にはエキストラとして携わってきた作品は枚挙にいとまがない。関西のみならず、東京制作のスタッフとして参加要請を受けることも多く、いつしか自分の作品を作りたいという情熱を携えながら映画の制作現場を裏から支え、理想像を探求してきた。

今回「みちくさ～天国に一番遠い場所～」で初監督としてメガホンを取った。

### ▼主な参加作品

- 2017年 渡辺シン監督「水面のあかり」制作
- 2018年 藤村明世監督「見栄を張る」攝灯隊
- 2019年 岡田有甲監督「TRAVERSE」制作担当
- 2019年 田中健詞監督「おぼはんだらゴン」助監督
- 2019年 磯部鉄平監督「そしてまた私たちはのぼってゆく」撮影助手
- 2020年 磯部鉄平監督「コーンフレーク」制作
- 2020年 林海象監督「BOLT」照明助手
- 2021年 川本貴弘監督「かば～西成を生きた教師と生徒ら～」制作担当
- 2022年 田中健詞監督「バウムクーヘン」助監督
- 2022年 長崎アンナ監督「SUPER APARTMENT WIFE ～奥様はゴーレム」プロデューサー、助監督
- 2023年 長崎アンナ監督「恋はパンとミルクのほとり」プロデューサー、監督補 ほか多数